最適な容器で 安心・快適なお持ち帰りを

持ち帰り容器例示集

食べきれなかった料理のお持ち帰りは、お客さんの自己責任により、衛生上の注意事項を理解 したうえで行えば、食品ロスの削減につながる望ましい行為です。

下記の例も参考に、お料理の内容やお客さんのニーズに合うお持ち帰り用容器をご用意いただき、お客さんに積極的にお声掛けしてお持ち帰りを増やすようご協力ください。

※サイズや価格は一例であり、メーカー、商品によって異なります。

	サイズ 1個当たりの価格 特徴			
種別(写真)			, _ , , ,	
	(組立後)	(100 個購入時の目安)	適した料理など	
小分けカップ型	(紙製)	(紙製)	• 複数の料理を持ち帰る場合や	
	直径 145 mm H75 mm	49円/個	複数人で持ち帰る場合に,力	
	(プラ製)	(プラ製)	ップごとに分けられる。	
	直径 101 mm H44 mm	12.65 円/個	・液漏れしにくいので,汁気の多	
			い料理にも適している。	
紙箱型	100mm×144mm	15.9円/個	• 組み立て式なので必要な収納	
	H45		スペースが少ない。	
			・隙間が生じるので汁気の多い	
			料理は適さない。	
蓋一体型	(プラ製)	(プラ製)	・組み立てる手間が要らない。	
	143 mm×103 mm	8円/個	・隙間が生じるので汁気の多い	
	H27 mm		料理は適さない。	
	(バイオマスプラ製※)	(バイオマスプラ製※)	・近年は植物由来の素材の容器	
	170 mm×115 mm	21 円/個	も増えている。	
	H50 mm		※サトウキビ等の植物を原料としたプラスチック	
中皿付きどんぶり型	直径 196 mm H82 mm	46円/個	・ご飯とカレーなど,2種類を混	
			ざらないように持ち帰れる。	
			・液漏れしにくいので,汁気の多	
			い料理にも適している。	
食品用紙袋	巾 120 mm	8円/枚	・汁気のないパン,フライドポテ	
	マチ65mm H175		ト等に適している。	
			・内側は耐油・耐水加工	
			・省資源で環境にやさしい。	

京都市作製の持ち	150mm×130mm	無料で提供中	持ち手があるので、持ち運びし
帰り容器	H50mm	(1店舗につき上限	やすい。
M		20個) (送料無料)	・紙製。内側は耐油・耐水加工 ・組み立て式なので必要な収納
			スペースが少ない。

<京都市作製持ち帰り容器提供希望の連絡先>

京都市 環境政策局 循環型社会推進部 ごみ減量推進課 電話075(213)4930 FAX075(213)0453

Eメール:gomigenryo@city.kyoto.lg.jp

くお持ち帰りの関連物品>

※サイズや価格は一例であり、メーカー、商品によって異なります。

種別	サイズ	1枚(個)当たりの価格 (100枚購入時の目安)	特徴 用途など
紙袋	中 300 mm	54.5 円/枚	マチの広い袋なら、入れた容
(マチ広手提袋)	マチ 180 ㎜		器が傾かないので、液漏れの
	H175		危険が少なくなる。
			オリジナルの紙袋を作れば、
			お店の宣伝にもなる。
レジ袋	巾 250 mm	0.62 円/枚	・容器から液漏れしても袋から
(プラ製)	マチ 100 ㎜		染み出ない。
	H350		袋の口を結んで密閉すれば句
(バイオマスプラ製)	巾 215 mm	1.35 円/枚	いが漏れない。
	マチ62㎜		
	H430		
耐油・耐水シート	350mm	763円/本	・食品を包んでから紙製の容器
	×35m ロール		や隙間のある容器に入れれ
			ば、液漏れ、油染みを防げる。
抗菌シート	250mm	5.93 円/枚	・料理を包むと,細菌の増殖を
	×250mm		抑制する効果がある。
保冷剤	75mm×75mm	8.3 円/個	• 持ち帰る時間中, 料理を低温
		※400 個購入の場合	に保つことで、細菌の増殖を
			抑制できる。

☆環境に配慮したお持ち帰りを☆

プラスチックは油や汁を通さない、電子レンジで加熱できる等の特長があり、テイクアウトや持ち帰りの容器として広く使われています。しかし、プラスチックは石油を原料としており、自然界では分解されないなど、環境への負荷が高い一面も持っています。

紙,木など,植物由来の原材料による容器をできるだけ使用しましょう。プラスチックでなければ難しい場合は,サトウキビなどの植物を原料とする「バイオマスプラスチック」の使用をご検討ください。





一番エコなのは食器やタッパーでのお持ち帰り

一番エコなのは、使い捨ての容器を使わないこと。よく来店される常連さんなら、食器やタッパーに 入れて持ち帰り、次回の来店時に持ってきてもらいましょう。

また、もしお客さんの方から、持参したタッパー等に入れて持ち帰りたいとの申し出があった場合 も、生もの等でなければ、できる限り対応しましょう。容器の衛生面に不安を感じられる場合は、除菌 シートで拭く、抗菌シートを敷く等の対策を講じたうえで、食品を詰めるようにしましょう。